

都市計画道路(街路)ができるまで

<p>① 道路の計画・説明</p> <p>地域に必要な道路について計画を立案し、関係住民等へ説明を行います。</p>	<p>② 都市計画決定</p> <p>住民説明を経て公聴会・都市計画審議会において審議し、都市計画決定を行います。</p>	<p>③ 新規事業化・事業説明</p> <p>事業計画が決まると関係住民等に説明を行い協力をお願いします。</p>	<p>④ 路線測量・地質調査</p> <p>道路を設計するため地形等の測量や図面の作成、地質調査を行います。</p>
<p>⑤ 道路の設計</p> <p>測量図面や地質調査の結果をもとに道路、橋、トンネルの設計を行います。</p>	<p>⑥ 設計の説明</p> <p>関係住民等に道路の設計について説明を行い、了解をいただきます。</p>	<p>⑦ 用地測量(幅杭設置)</p> <p>設計に基づき道路建設に必要な用地の範囲を示す杭を打設します。</p>	<p>⑧ 土地や建物の調査</p> <p>道路建設に必要な土地・建物の調査のため、立会等をお願いします。</p>
<p>⑨ 用地補償の交渉、契約</p> <p>用地調査結果をもとに地権者と価格等について交渉を行い、契約合意を得た後、補償金の支払を行います。</p>	<p>⑩ 工事の説明</p> <p>関係住民等に工事の方法、期間、交通処理などの説明を行います。</p>	<p>⑪ 工事</p> <p>設計に基づいて、道路や橋をつくります。</p>	<p>⑫ 完成・開通</p> <p></p>



※「完成予想イメージ図」は明野までの整備を含めて作成しております。なお、今後の詳細な設計により、構造等が変更となる場合があります。

事業の経緯

- 平成6年4月 都市計画変更
- 平成6年12月 計画路線指定(地域高規格道路 大分中央幹線道路L=6km)
- 平成7年2月 事業認可取得(大道工区)
- 平成7年4月 整備区間の指定(大道工区)
- 平成8年8月 整備区間の指定(金池・上野工区)
- 平成9年8月 事業認可取得(金池・上野工区)
- 平成11年3月 工事着手(大道工区)
- 平成12年3月 道路供用開始(大道工区の一部)
- 平成16年3月 調査区間の指定(六坊北町から下郡)
- 平成17年3月 事業変更認可(大道・金池・上野工区)
- 平成17年3月 工事着手(金池・上野工区)
- 平成18年5月 道路供用開始(金池・上野工区の一部)
- 平成20年9月 供用開始(大道～上野工区 L=2.2km全線)
- 平成21年3月 整備区間の指定(元町・下郡工区)
- 平成22年6月 都市計画変更一部区域の変更
- 平成22年9月 事業認可取得(元町・下郡工区)
- 平成25年10月 工事着手(宗麟大橋)
- 平成28年3月 事業変更認可(元町・下郡工区)
- 平成29年7月 事業認可取得(下郡工区)
- 平成30年1月 供用開始(元町・下郡工区 L=1.2km)

路線の概要

- 【大道～上野工区】**
 - 事業区間：大分市大道町5丁目～大分市六坊北町
 - 事業延長：L=約2.2km
 - 道路幅員：W=54m
 - (車道3.25m×4車・歩道5.0m×2・側道5.0m×2)
 - 道路規格：第4種第1級
 - 設計速度：60km/h
 - 事業期間：平成6年度～平成20年度
- 【元町・下郡工区】**
 - 事業区間：大分市六坊南町～大分市大字下郡
 - 事業延長：L=1.2km
 - 道路幅員：W=31.3m～56.0m
 - 道路規格：第4種第1級
 - 設計速度：60km/h
 - 事業期間：平成20年度～平成29年度
- 【下郡工区】**
 - 事業区間：大分市大字下郡～大分市下郡南
 - 事業延長：L=0.9km
 - 道路幅員：W=46m～55m
 - 道路規格：第4種第1級
 - 設計速度：60km/h
 - 事業期間：平成29年度～令和8年度



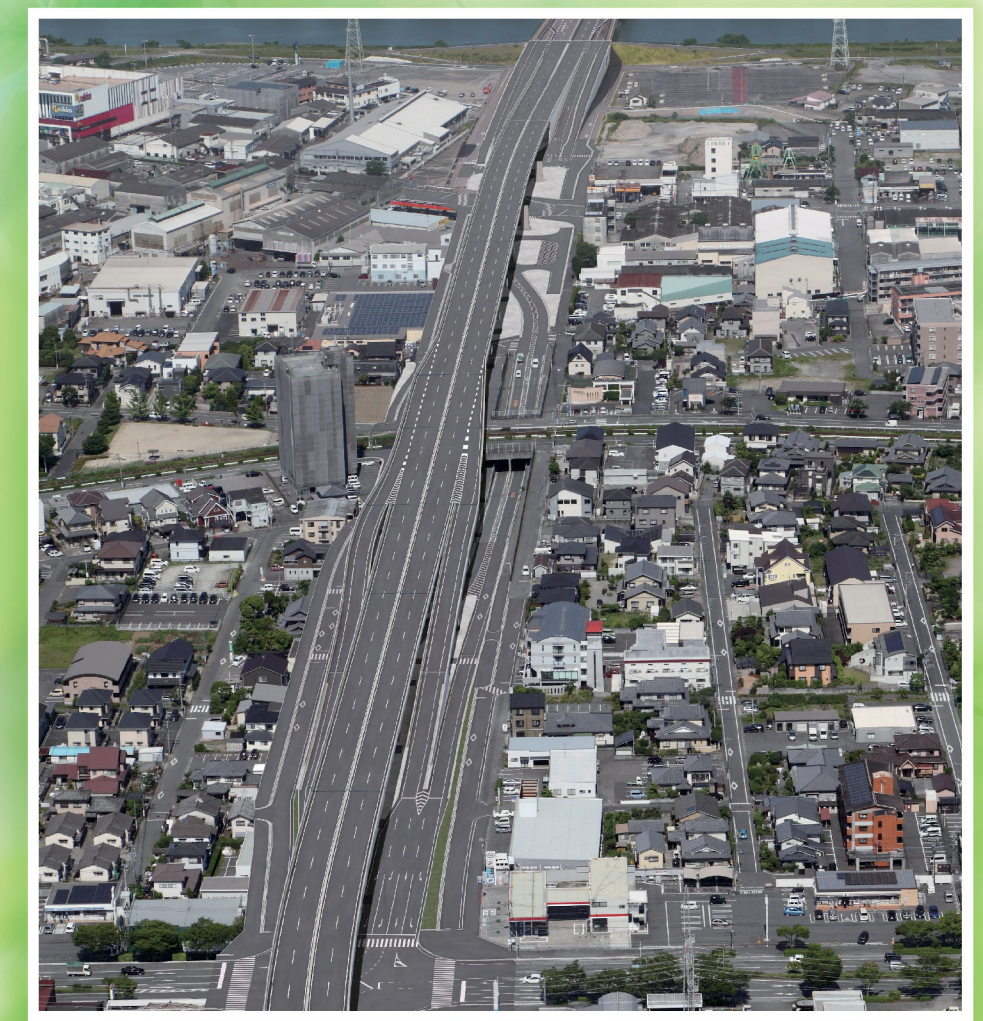
■お問い合わせ先■
大分県大分土木事務所
 〒870-0905 大分市向原西1丁目4番2号
 Tel:097-558-2141 Fax:097-552-5701



地域高規格道路・大分中央幹線道路

都市計画道路 庄の原佐野線

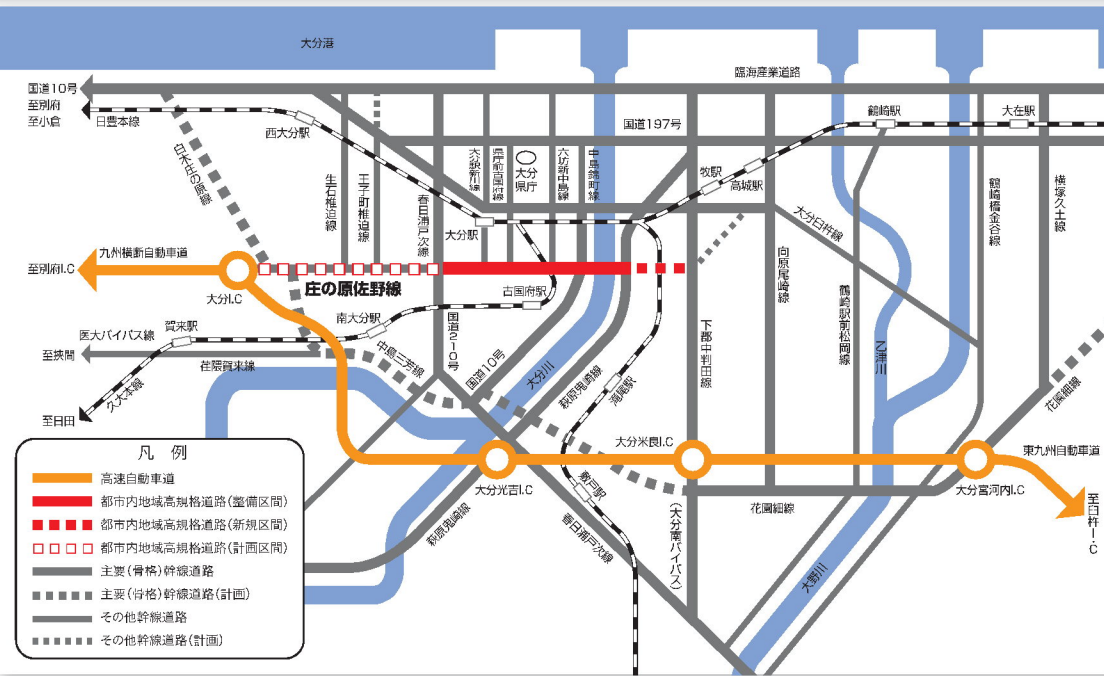
下郡工区



完成予想イメージ図

大分県

大分市幹線道路網図



都市計画道路・庄の原佐野線(下郡工区)の役割

役割1 渋滞緩和と移動時間の短縮

当該地域では、(主)大分白杵線、(都)下郡中判田線を利用して中心市街地と市南東部を往來する交通が集中するため、慢性的に渋滞が発生しています。下郡工区の整備により、幹線道路によるアクセスの強化と交通の分散によって、渋滞緩和及び移動時間の短縮が期待されます。

大分米良ICから大分市中心市街地までの所要時間(朝ピーク時)
現在34分*1

■事業区間周辺の渋滞状況



*1 旅行速度：H22道路交通センサス、H27・H28旅行速度調査
*2 渋滞長：H27.9.10(木)調査結果(渋滞長が200m以上の箇所を記載)



役割2 交通事故の削減

当該地域では、渋滞に起因する追突事故が多く発生しています。下郡工区の整備により、渋滞が緩和し、死傷事故件数の削減が期待されます。

■事業区間周辺の事故発生状況

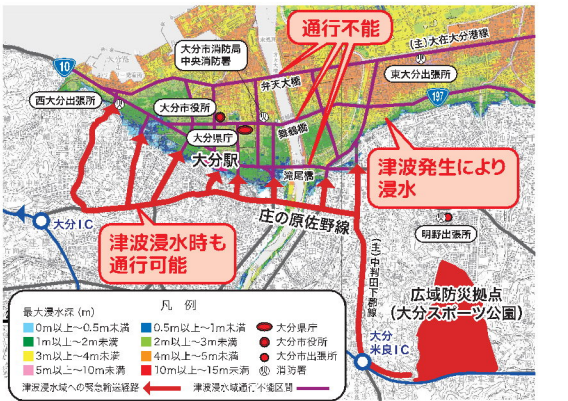


*大分県資料(H22-H25) 集計区間:(主)大分白杵線加納西交差点~錦町2丁目交差点間 全国平均:平成23年度国土交通省HP

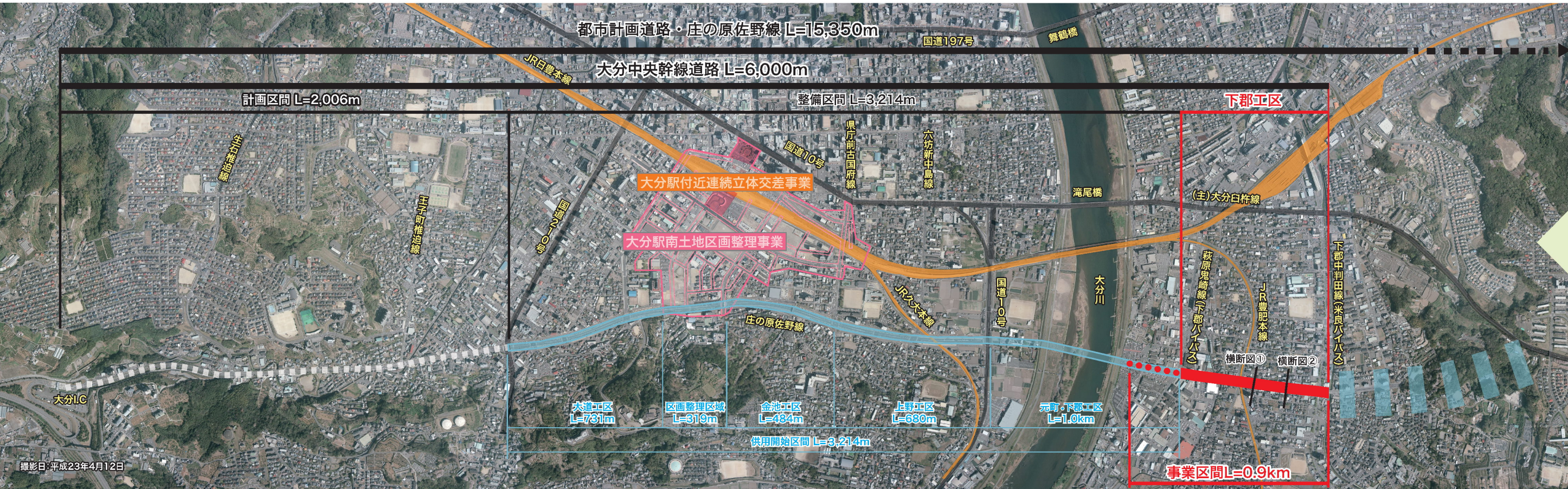
役割3 災害時の緊急輸送路の確保

大分市中心市街地の多くは津波浸水区域に指定されています。下郡工区の整備により、広域防災拠点と大分市中心部が幹線道路で繋がり、津波浸水時においても緊急輸送物資の搬送が可能になります。

■津波発生時の浸水状況と緊急輸送経路



*「大分県津波浸水予測調査結果」(大分県)



計画概要

道路規格	設計速度	車線数
4種1級	60km/h	4車線

横断面① (JR豊肥本線付近)

横断面② (米良バイパス付近)

縦断面

下郡工区 整備範囲(約0.9Km)

将来計画

※図は明野までの整備を含めて作成しております。なお、今後の詳細な設計により、構造等が変更となる場合があります。